

100年先の香川を見つめて

令和8年度県政のあらまし

県民100万人計画

デジタル田園都市100計画

にぎわい100計画

かがやくけん、かがわけん。

香川県

「人生100年時代のフロンティア県」の 実現をめざして

人生100年時代を迎える中、すべての県民が生涯のあらゆる段階で活躍し、人生の豊かさと幸せを実感しながら安心して暮らすことができる地域社会を全国に先駆けて実現する「人生100年時代のフロンティア県」をめざします

県民100万人計画

安全・安心で住みたくなる香川をつくります

- ① 「子育て県かがわ」をつくる
- ② 教育の充実
- ③ 女性や高齢者、障害者が活躍する社会づくり
- ④ 安心できる医療・介護体制を構築
- ⑤ 災害や渇水に強い県土をつくる
- ⑥ 交通事故や犯罪のない安全安心な社会をつくる
- ⑦ 人口100万人計画

デジタル田園都市 100計画

活気に満ち挑戦できる香川をつくります

- ⑧ 産業拠点香川へ
- ⑨ 「四国の玄関口」として確かなインフラ整備を進める
- ⑩ 農林水産業の先進県へ
- ⑪ 県産品の販路拡大
- ⑫ あらゆる世代・人材で香川の産業を支える
- ⑬ グリーン社会の実現
- ⑭ デジタル社会を形成する

にぎわい100計画

多くの人が行き交い
訪れたくなる香川をつくります

- ⑮ 観光客2割UPを目指して
- ⑯ まち全体の美化推進
- ⑰ 文化芸術、スポーツの振興による地域活性化



SDGs(Sustainable Development Goals)は、2015年9月、国連サミットにおいて採択された、2030年までに達成すべき国際社会全体の開発目標です。SDGsの理念や目標は、県が総合計画に基づき取り組むこととしている各施策と方向性を同じくするものであり、これらの取組を推進することにより、SDGsの達成につなげていきます。

誰もが誇れる香川へ

稼げる香川

戦略的な企業誘致

本県への優良な製造業・物流業などの拠点整備や若者にとって魅力のある情報通信関連産業の立地を促進します。地域の特性や強みを活かしながら、雇用の創出や地域経済の発展につながる戦略的な企業誘致に取り組みます。



▲米半導体大手エヌビディア合同会社との連携協定締結

オープンイノベーション拠点 「Setouchi-i-Base」の機能強化

情報通信関連分野における事業の創出・拡大や会員間の交流・ビジネスマッチングを促進するため、「Setouchi-i-Base」の会員の活動拠点となる貸しオフィスの新設やWebサイトへの会員マッチング支援機能の搭載など、機能強化に取り組みます。



▲元気で気鋭のスタッフが支えるSetouchi-i-Base

にぎわい創出

地域資源の魅力アップ

特色ある地域資源や景観を活用して、にぎわいを創出します。さぬきフラワーガーデンに隣接するさぬき空港公園のリニューアルやダム周辺環境の整備を行うとともに、瀬戸内の新たな価値の創造に向けて、「ユネスコ世界ジオパーク」の認定を目指します。



▲さぬきフラワーガーデン



▲さぬき空港公園(整備イメージ)



▲讃岐ジオパーク構想

アリーナ効果を県内全域へ

ユネスコから「世界で最も美しいアリーナ」の称号を受けた県立アリーナのにぎわいを核として、クリスマスマーケットなどの夜型観光や、かがわマラソンを今年度も開催します。さらに、市街地のプロムナード化による周遊性の向上や県内の魅力ある観光資源を生かした周遊ツアーにより、サンポート高松周辺のにぎわいを県内全域に広く波及させます。



▲クリスマスマーケット

発展を確かなものに

住み続ける香川



▲瀬戸内海の魅力を伝える「こども図書館船 ほんのもり号」

郷土愛を育む

12月3日は「香川県民の日」

ふるさと香川に対する思いを深めていただく日として「香川県民の日」を創設しました。記念式典や公共施設の無料開放、記念イベントなど、本県の魅力を再認識し、楽しみながらみんなで香川を盛り上げる日を目指します。

出生数反転に向けて

出生数増加へと流れを反転させるため、以下の3つの希望の実現を応援する取組を推進します。

- 「かがわで暮らしたい」の実現
「ワークサポートかがわ」での就職相談
- 「出会い・結婚したい」の実現
「EN-MUSUかがわ」での縁結びマッチング
- 「こどもを生み育てたい」の実現
経済的負担の軽減や子育て家庭等が気軽に訪れることができる「かがわ子育てステーション」の普及

若者の県内定着に向けて

県内大学などが行う若者定着のための取組を支援するとともに、県内企業と連携した奨学金返還支援に取り組めます。

また、新たに開設した香川県男女共同参画センター「ふらっとびあ香川」でジェンダーギャップの解消に取り組み、若者・女性に選ばれる香川を築きます。



防災・減災対策

避難所の生活環境の整備

公共インフラや住宅の耐震化を促進するとともに、災害用トイレ・簡易ベッド等、関連物資の備蓄増強を進めます。また、男女共同参画の視点を持ち活動できる女性地域防災人材を養成します。



▲炊き出し訓練の様子

県民100万人計画

「子育て県かがわ」をつくる

「子育て県かがわ」をつくる

若い世代が定住する。結婚の希望をかなえられる。誰もが次代を担う子どもたちを安心して生み、健やかに育てることができる。そんな「子育て県かがわ」を社会全体でつくりまします。「経済的負担の軽減」、「子育て拠点の充実」、「みんなで子育て」の3つの柱に沿った施策により、少子化の流れ・局面を打開します。

子育て家庭や妊産婦への支援

各市町やNPO団体等が運営している、子育て家庭や妊産婦が気軽に立ち寄れる相談・情報提供・交流の場を、「かがわ子育てステーション」として登録を進めています。登録施設には、目印となるステッカーを掲示しています。



教育の充実

学力の育成

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善により児童生徒の確かな学力の育成を図るとともに、教員を支える体制の強化・充実により、教員が児童生徒と向き合う時間を確保します。



▲授業風景

県立高校魅力化の推進

「魅力あふれる県立高校推進ビジョン」の改定、及び国の「高校教育改革に関する基本計画」に基づく「実行計画」の策定に向け、今後の県立高校のあり方を検討します。

各県立高校が特色ある教育プログラムを実施し、魅力的な高校づくりを推進します。



▲香川県高校生探究発表会

特別支援教育の推進

子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するため、適切な指導や必要な支援を行います。



▲一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援

部活動改革の推進

少子化が進む中、生徒の多様なスポーツや文化芸術に親しむ機会を確保するため、中学校の部活動について、地域や学校の実情に配慮しながら、地域展開に向けた環境づくりに取り組みます。



▲中学校部活動の地域展開

女性や高齢者、障害者が活躍する社会づくり

男女共同参画の推進

令和8年4月に開設した男女共同参画センター「ふらっとびあ香川」を拠点に、女性リーダーや女性地域防災人材の養成など、男女共同参画に向けた取組の推進や、女性が働きやすい環境の整備を通して、あらゆる分野における女性の活躍を推進します。



▲「ふらっとびあ香川」愛称ロゴ・シンボルマーク

障害者の就労促進

民間企業における障害者の雇用促進を図るため、専門のアドバイザーが県内企業の支援ニーズに対応した個別支援を行うほか、障害者の雇用や定着に向けた研修会や企業間の交流会等を開催します。



▲企業間の交流会

健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進

野菜摂取量や骨密度などの測定器を活用し、生活習慣や健康状態を見る化することで、健康行動への変容を促すとともに、要介護の原因となる認知症や骨折等への対策強化に取り組みます。



▲健康寿命の延伸

安心できる医療・介護体制を構築

救急医療体制の確保・医療人材の確保

救急医療機関の連携強化を図るとともに、香川県ドクターヘリを効果的に運航し、本県の救急医療体制の充実・強化を図ります。

香川県ドクターヘリの運用や新たに同大学が実施する奨学金貸与制度への支援などにより若手医師の確保を図るとともに、看護職を目指す学生の修学支援などにより看護職員の確保を図ります。

感染症対策の強化

感染症分野の専門人材を養成するため、感染症専門医の育成、県内医学生への教育等を行うとともに、第一種感染症病棟の運営、新興感染症等の発生に備えた訓練や研修の実施などに取り組み、感染症対策の強化を進めます。



▲香川県ドクターヘリ



▲感染症対策の強化

介護人材の確保対策

介護支援専門員の実務研修や再研修受講者へ受講料減免などの支援を行い、新たな担い手を確保するとともに、介護施設等が行う外国人材確保の取組を支援するなど、介護人材の確保に努めます。

災害や渇水に強い県土をつくる

避難所の生活環境整備・防災意識向上の促進

避難所の生活環境の整備を加速するため、また、既設トイレを衛生的に使用するため「流さないトイレ」の使用を普及させるほか、地震・津波からの避難等の防災行動を促進するための動画や小学生向け副読本を作成し、防災意識の向上を図ります。



▲「流さないトイレ」(携帯トイレ)

公共土木施設の老朽化対策の推進

道路、河川、港湾等の公共土木施設について、定期的な点検により劣化状況を適切に把握し、長寿命化を図るための計画的かつ効率的な補修工事に取り組むなど、老朽化対策を推進します。



▲橋梁点検状況(北山大橋)

南海トラフ地震・津波対策の推進

「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、優先度の高い箇所から重点的・集中的に海岸堤防や河川堤防等の地震・津波対策を進めます。「第12次香川県老朽ため池整備促進5か年計画」に基づき、老朽化が進行した防災重点農業用ため池の防災対策を推進します。



▲地震・津波対策工事(引田海岸)



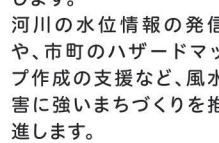
▲地震・津波対策工事(相引川)



▲老朽ため池整備工事

大規模な風水害に強いまちづくりの推進

近年、頻発化・激甚化している豪雨による洪水や土砂災害などを未然に防止するため、「香川県流域治水プロジェクト」に基づき、河川堤防や砂防施設等を整備します。



▲田口川砂防堰堤(東かがわ市錦糸)



▲大東川広域河川改修工事(丸亀市飯山町)

水の安定供給の確保

香川県広域水道企業団や直島町が行う水道施設の整備を支援することにより水道施設の更新・耐震化を推進し、地震などの災害に強い水道を構築します。また、洪水を防御する治水機能と河川維持用水などを安定供給する利水機能を有するダムを整備を計画的に進めます。



▲試験湛水中の柵川(かがわ)ダム(高松市塩江町)

交通事故や犯罪のない安全安心な社会をつくる

交通死亡事故の抑止

県民の交通安全意識の高揚を図るため、教育を受ける者の年齢、通行の態様に応じた体系的な交通安全教育や啓発活動を推進します。



▲児童に対する交通安全教育



▲自転車乗車用ヘルメット

特に高齢者に対しては、訪問指導等によるきめ細かな交通安全教育を推進します。高校生の交通安全意識の向上を図るため、ヘルメット着用に取り組む高校の自転車通学生にヘルメット購入費の補助を行います。

見やすく分かりやすい道路標識・標示の整備など、交通事故の起きにくい交通環境の整備を行います。

犯罪防止に向けた取組の推進

増加する特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺被害の抑止に向け、金融機関等と連携した水際対策を強化するとともに、生成AIを活用した特殊詐欺等の被害仮想体験などを実施し、県民の詐欺への抵抗力を高めます。その他の犯罪についても、犯行の手口や地域の犯罪発生状況等を分析し、検挙と抑止の両面から効果的な対策を推進します。



▲金融機関との詐欺対策会議



▲生成AIを活用した体験ツール

サイバー空間の脅威への的確な対処

サイバー空間の脅威に的確に対処するため、サイバー犯罪捜査用資機材を活用した捜査を推進するとともに、産学官が連携した被害防止対策を行うなど、検挙と抑止の両面から総合的な対策を図ります。



▲サイバー防犯ボランティアとの連携

人口100万人計画

定住人口を拡大する

市町等と連携しながら、大都市圏で開催する移住フェアやSNS等で広く「かがわ暮らし」の魅力を発信するとともに、住宅情報の提供や就職相談、定住サポートに取り組みます。



▲移住フェア

デジタル田園都市100計画

産業拠点香川へ

戦略的な企業誘致 ※内容は1ページに記載しています。

スタートアップ等の創出促進

県経済を牽引するスタートアップが継続的に生まれ、育つ「香川らしいスタートアップエコシステム」の形成に向け、機運醸成、拠点確保、相談・伴走、成長加速化の観点から支援を行います。



▲かがわスタートアップフェスタ

デジタルの活用による競争力強化

県内企業の生産性向上や技術の高度化を図るため、生産現場の実態・ニーズに応じて、AI技術を活用した研究開発やロボット等の先端技術の導入等を促進するとともに、県内企業のデジタル化を支援します。



▲AI関連技術講習会

「四国の玄関口」として確かなインフラ整備を進める

高松空港の利便性向上

空港運営会社と連携しながら、航空ネットワークの拡充とそれを支える利用環境の向上に取り組みます。



▲高松空港

幹線道路や重要港湾等の整備

「香川県幹線道路ネットワーク整備長期ビジョン」を踏まえ、新規事業の具体化に必要な調査・検討を行います。



▲高松港国際物流ターミナルの整備

高松港が四国における物流・交流拠点として発展するよう、高松港国際物流ターミナルや高松港複合一貫輸送ターミナルの整備を進めるなど、港湾機能の強化を推進します。



▲国際線航空機(複数)

みなとのにぎわい創出

高松港では11万トン級までの大型クルーズ客船受入施設整備のほか、大型プレジャーボート受入施設の増強を検討するとともに、港湾緑地等の利活用や多様なニーズに対応した利便性の高い施設整備等を進めるなど、みなとのにぎわい拠点の整備に取り組みます。



▲高松港(玉藻地区)大型クルーズ客船受入施設の整備

農林水産業の先進県へ

農産物の需要拡大

高品質な県産の野菜、果樹、花きとレモンを束ねた「さぬき讃シリーズ」や「おいでまい」を含む県産米、県オリジナル小麦「さぬきの夢」等について、生産者や「さぬき讃サン」はなやか(花野菜大使)等と連携したプロモーション活動により、認知度向上を図るとともに、栄養や健康効果も積極的にPRして県産農産物の需要拡大につなげます。



▲農産物の需要拡大(かがわ旬のイチオシ!)農産物フェア

オリジナル品種の生産振興

小麦「さぬきの夢」の新品種をはじめ、キウイフルーツ「さぬきエメラルド」、アスパラガス「さぬきのめざめ2021」、ランキュラス「てまりシリーズ」、オリーブ「せとみどり(香オリ3号)」「オルビーナ(香オリ5号)」など、県オリジナル品種の導入による高品質で特色のある農産物の生産振興に努めます。



1



2



3



4



5

- 1 県オリジナル品種「さぬきの夢2023」
- 2 県オリジナル品種「さぬきエメラルド」
- 3 県オリジナル品種「さぬきのめざめ2021」
- 4 県オリジナル品種(ランキュラス、カーネーション)
- 5 県オリジナル品種「せとみどり(香オリ3号)」

豊かな海づくりの推進

近年、温暖化や貧栄養化等により瀬戸内海の海域環境が大きく変化し、漁獲量が激減しているため、水産資源の早期回復に向け、不漁原因の究明や漁場環境の改善など、豊かな海を取り戻すための取組を総合的に進めます。



▲産卵や稚魚の育成の場となる葉場

森林整備と森林資源循環利用の促進

間伐等による森林整備に取り組むとともに、公共施設や民間住宅等での「かがわヒノキ」を中心とした県産木材の利用促進、普及啓発に努めるなど、川上、川中、川下が一体となって、森林整備と森林資源の循環利用を推進し、脱炭素社会の実現に貢献します。



▲県立アリーナ武道施設(県産木材利用施設)

農山漁村の活性化

農山漁村地域の豊かな自然環境や伝統文化、農林水産物などの魅力あふれる地域資源を発掘・活用し、都市住民との交流や農山漁村地域への移住・定住の取組を促進します。



▲棚田ライトアップ

県産品の販路拡大

県産品のブランド力の強化と認知度向上の推進

アンテナショップ、県産品ポータルサイト、インターネットやSNS等を活用し、県産品の効果的な情報発信を行います。観光客や県内の消費者に向け、香川の「食」の情報発信や販売促進に取り組みます。

伝統的工芸品及び地場産品のブランド力強化と販路拡大

高度な伝統的技術・技法によって生み出される「香川漆器」や「庵治石」、全国一位の生産量を誇る「丸亀うちわ」、「香川手袋」などの伝統的工芸品や地場産品について、首都圏のセレクトショップ等においてフェアを開催し、販売促進に努めます。海外でも造形美の評価の高い「松盆栽」について関係団体と連携した販路拡大に取り組みます。



▲香川漆器



▲香川手袋



▲庵治石



▲丸亀うちわ



▲松盆栽

あらゆる世代・人材で香川の産業を支える

求職者への就職支援と県内企業の人材確保

「香川県就職・移住支援センター(ワークサポートかがわ)」において、きめ細やかなマッチング支援や県内企業の情報発信を行い、正規雇用での県内就職を促進します。

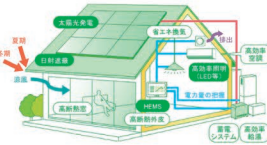


▲マッチング支援

グリーン社会の実現

地球温暖化対策の推進

「香川県地球温暖化対策推進計画」に基づき、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)等の導入や断熱改修の促進など、温室効果ガスの削減を図る「緩和策」と、気候変動の影響に備える「適応策」を両輪として、地球温暖化対策に取り組みます。



▲ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

循環型社会の形成

できる限りごみを減らし(リデュース)、可能なものを再利用(リユース)・再資源化(リサイクル)するなど、循環型社会づくりを推進します。災害廃棄物処理の充実・強化や、不法投棄対策の一層の強化に取り組みます。



▲フィールド講座

生物多様性の保全

県内の研究者等が収集・保管している標本を活用した「まちかど生き物標本展」や、香川の自然に親しむフィールド講座を開催し、香川の生き物やその現状を知る機会を子どもたちに提供します。



▲若手狩猟者の確保・育成講座

有害鳥獣対策の推進

イノシシ等による被害を防止するため、県主体の捕獲事業や市町が実施する市街地周辺での捕獲等の支援を行うなど有害鳥獣対策に取り組みます。また、捕獲の担い手となる若手狩猟者の確保・育成を推進します。



▲海岸に漂着したプラスチックごみ

海ごみ問題の解決に向けて

海ごみは、プラスチックごみ等の生活ごみが大半を占めているため、海ごみの回収とあわせて日常生活に由来する海ごみの発生抑制を図る必要があります。かがわ海ごみリーダー等と協力し、海岸清掃活動等を通じて地域での海ごみ対策を推進します。



▲環境団体による環境学習

環境を守り活かす人づくり・地域づくりの推進

環境学習や環境保全・美化活動への参加促進など、環境を守り活かすための「人づくり」と、市町や民間団体等と連携し、環境保全の取組が県全体に広がる「地域づくり」を推進します。

人と動物との調和のとれた共生社会づくり事業

「さぬき動物愛護センター(しっぽの森)」を拠点として、動物愛護管理についての普及啓発や犬猫の適正な譲渡を推進します。また、飼い主のいない犬猫を増やさない地域の取組を支援し、保健所に収容される犬猫の減少に努めます。



▲犬とのふれあい体験教室

デジタル社会を形成する

オープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」の機能強化

※内容は1ページに記載しています。

官民共創によるDXの推進・人材育成

官民共創コミュニティ「かがわDX Lab」において、官民のそれぞれの知見を生かし、課題の抽出・深掘りや、解決手法の精査、実証実験等に取り組み、住民に寄りそったサービスを実装することで、地域課題解決につなげます。

また、オープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」において、人材育成講座や各種セミナー等を実施するなど、地域や企業のデジタル化を支え、イノベーションを創出するデジタル人材の育成を推進します。



▲「かがわDX Lab」のワーキングの様子

にぎわい100計画

観光客2割UPを目指して

観光客の誘致・滞在の促進

サンポート高松地区周辺の観光コンテンツづくりによる夜型観光の推進や、にぎわいを広く波及させ、滞在を促進するため、県内の魅力ある観光資源を生かした周遊ツアーの造成・販売などに取り組むほか、外国人観光客の誘客に向け、高松空港国際線の就航先や東南アジア・欧米豪等の地域からの誘客プロモーション活動に取り組みます。



▲KAGAWA Christmas Market 2025

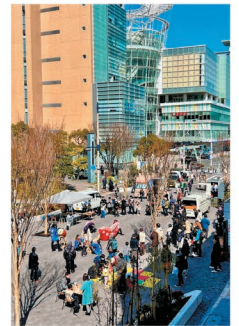
まち全体の美化推進

地域資源の魅力アップ

※内容は1ページに記載しています。

快適で美しいまちづくりとおもてなしの向上

- ・市町や観光協会、観光関係団体等と連携し、全県的な「観光香川おもてなし運動」を展開します。
- ・まちの美化やトイレの洋式化を推進し、本県を訪れる観光客の利便性と満足度の向上に努めます。



▲サンポート高松地区プロムナード化

安全で美しく楽しい、歩行者優先の空間づくり

サンポート高松から高松中央商店街に向けて、中心市街地の回遊性、滞在性の向上に取り組みます。

文化芸術、スポーツの振興による地域活性化

かがわマラソン2027

春の讃岐路を駆ける日本陸連公認フルマラソン「かがわマラソン」を2027年も開きます。2026年3月の第1回大会は国内外から1万人超の市民ランナーが参加しました。スポーツ文化の醸成を図るとともに、地域資源の魅力を県内外に発信、にぎわいの創出や交流人口を拡大し、地域経済の活性化につなげます。



▲一万人超の市民ランナーが県立アリーナをスタートした2026年大会

文化芸術の振興

文化芸術を担う人材の育成をはじめ、県立ミュージアムやレクザムホール(県民ホール)における文化事業など文化芸術に親しむ機会の充実を図ります。香川漆芸やかがわ文化芸術祭など香川の特長ある文化芸術を活かした地域づくりにも取り組みます。



▲かがわ文化芸術祭

文化資源の継承と活用

特色ある有形・無形の多彩な文化資源の継承と充実を図り、地域づくりに生かすため、県内外から広く寄附を募るなど、幅広く文化財保全活動への支援や参画を促進します。



▲重要文化財・普通寺金堂の防災施設整備

地域密着型スポーツチームの振興

地域密着型スポーツチーム(香川オリブガイナース、カマタマーレ讃岐、香川ファイブアローズ、香川アイスフェローズ)の応援機運醸成等の支援とともに、チームを活用した地域活性化や地域課題解決等に取り組めます。



▲プロスポーツチームの活躍 ©KAGAWA FIVE ARROWS

トップアスリートの育成

国際大会等で活躍できるトップアスリートを輩出するため、ジュニア期からの一貫指導体制による育成、強化に取り組むとともに、練習環境を整備するなど、より一層の競技力の向上を図るほか、スポーツに関する情報発信に取り組みます。



▲体操内村選手によるかがわドリームスポーツ教室

生涯スポーツの振興

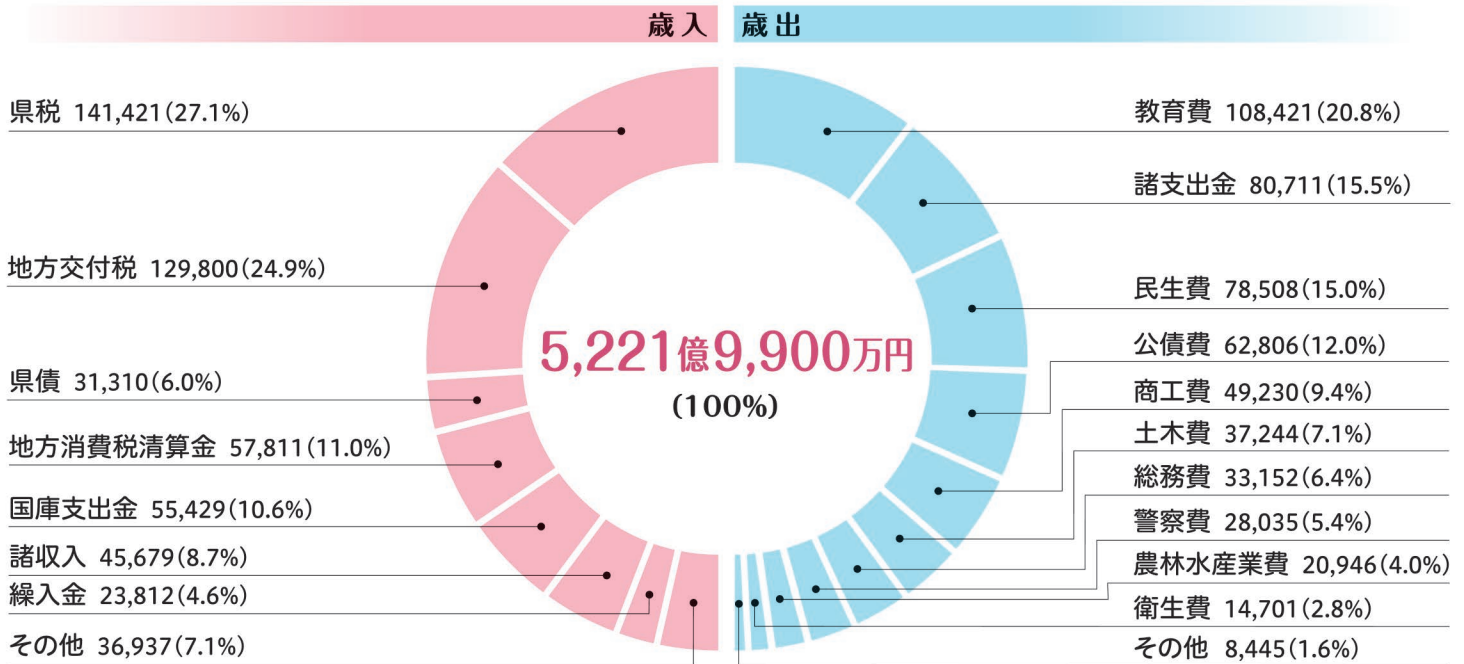
県民の誰もが気軽にスポーツやレクリエーション活動に親しめる機会を提供するため、「みなスポ!かがわ2026」を開催し、イベントへの参加を通じて県民の健康増進と生涯スポーツの振興を図ります。



▲みなスポ!かがわ2025の開催

令和8年度一般会計当初予算の歳入歳出

(単位：百万円)



県勢要覧

区分	数値	全国順位	年次
降水量	1,294.5mm	42位	R6年
日照時間	2,153.2時間	18位	R6年
面積	1,876.86km ²	47位	R6.10.1
人口	916,945人	38位	R6.10.1
人口密度(1km ² 当たり)	488.6人	11位	R6.10.1
合計特殊出生率	1.36人	11位	R6年

区分	数値	全国順位	年次
第1次産業就業者の割合	4.83%	24位	R2.10.1
第2次産業就業者の割合	25.14%	20位	R2.10.1
第3次産業就業者の割合	70.03%	20位	R2.10.1
有効求人倍率	1.46倍	5位	R6年度
1人当たり県内総生産(名目)	4,253千円	22位	R4年度
1人当たり県民所得	3,005千円	25位	R4年度

出典：100の指標からみた香川(令和8年版)

行政経営の推進

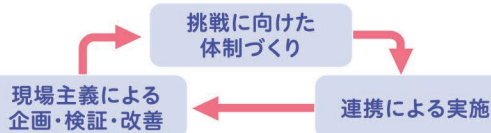
行政運営の基本理念

香川県の総合行政の主体として、真摯に地域と向き合い、県民起点の行政サービスを提供し、県民一人ひとりの幸せと、生きがいのある社会の実現に貢献する。

行政運営のビジョン(令和10年度のありたい姿)

「人生100年時代のフロンティア県」の実現に向けて挑戦する。

ビジョンの実現に向けた取組



行政マネジメントの推進

上記のサイクルを遅滞なく回すことで、外部環境の急速な変化と内部環境の課題に対応しつつ、ビジョンを実現する。

外部環境の急速な変化

- 進展する少子高齢化と人口減少
- デジタル技術の目覚ましい進歩
- ポストコロナ時代の働き方や意識の変化等

内部環境の課題

- 職員の年齢構成の変化への対応
- 働きやすい職場づくり
- 定年延長に伴うモチベーションの維持・向上等

令和6年度から5年間を計画期間とする「香川県行政経営指針-2024-」に基づき、行政運営のビジョンの実現に向けて、各種取組を行います。

主な取組

(★印は特徴的な取組)

1 挑戦に向けた体制づくり

挑戦に向け、組織体制の構築や人材の確保、職員の育成を行うほか、職員が仕事のやりがいやキャリアを通じた成長を実感できるよう、人材マネジメントの向上に取り組む。職員がお互いの違いや背景を尊重し、その力を最大限発揮できるように、働きやすい職場づくりを行う。

- ★管理職や中間層のマネジメント能力の向上
- ★人事考課制度の見直し
- ★庁内ジョブチャレンジ制度の推進
- ★男性職員の育児休業等の取得の推進
- ★フレックスタイム制や在宅勤務などの推進
- ★フリーアドレスの推進

2 連携による実施

施策の実施にあたり、小規模な本県がより良い成果を上げるため、市町や他県、民間等との連携・協働による実施に努めるほか、デジタル技術の利活用により、県民の利便性の向上や、施策の効果的・効率的な実施に努める。

- ★生成AI・ノーコードツールなどのデジタル技術の活用

3 現場主義による企画・検証・改善

行政サービスが、真に県民一人ひとりの幸せや、生きがいのある社会づくりに繋がるよう、現場主義に立って企画・検証・改善を行う。県民に近い立場で仕事をする現場の職員が、より円滑に業務ができるよう、現場主義に立った改善を行う。

- ★地域社会貢献に繋がる兼業の推奨

4 行政マネジメントの推進

県民の信頼と期待に応えるとともに、限られた資源を最大限活用して成果を出していくため、各種マネジメントの向上に取り組む。